

平成 27 年度 環境モニタリング調査結果（中間結果）

縦断方向の変化（春季・夏季）

（第 10 回荒瀬ダム撤去フォローアップ専門委員会）

1. 動植物調査地点



下記のページに掲載した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。
【掲載ページ】2

2. 春季調査結果

調査地点	遙拝堰湛水区間		下流流水区間				減水区間	第2流水回復区間		第1流水回復区間	上流流水区間
	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤道の駅坂本	⑥葉木	⑦荒瀬ダム 百済木川流入部	⑧与奈久	⑨西鎌瀬	⑩瀬戸石ダム下流	
細胞数	未実施。 (水深が深い湛水域のため日光が河床に到達せず、付着藻類は生育しない。)										
付着藻類	未実施。 (水深が深い湛水域のため日光が河床に到達せず、付着藻類は生育しない。)										
クロロフィルa フェオフィチン	未実施。 (水深が深い湛水域のため日光が河床に到達せず、付着藻類は生育しない。)										
底生動物 (流水性)											
魚類											
鳥類											

※平成27年の付着藻類調査は、平成27年8月1日に実施した。

: 湛水状態の時期

3. 夏季調査結果

調査地点	遙拝堰湛水区間	下流流水区間				減水区間	第2流水回復区間		第1流水回復区間	上流流水区間
	①遙拝堰	②横石	③下代瀬	④坂本橋	⑤道の駅坂本	⑥葉木	⑦荒瀬ダム 百済木川流入部	⑧与奈久	⑨西鎌瀬	⑩瀬戸石ダム下流
細胞数										
付着藻類										
クロフィル a フェオフィチン										
底生動物										
種数 (流水性)										
魚類										
鳥類										

■ : 湛水状態の時期